

簡易生命保險法案外一件特別委員會會議事速記録第一號

付託議案

簡易生命保險法案
簡易生命保險特別會計法案

委員氏名

委員長 伯爵林 博太郎君

副委員長 子爵前田 利定君

委員

子爵本多 忠鋒君

仲小路 廉君

小松謙次郎君

山本 達雄君

男爵眞田 幸世君

男爵長松 篤斐君

富井 政章君

山之内 一夫君

水野鍊太郎君

桑田 熊藏君

荒井 泰治君

鎌田勝太郎君

日高榮三郎君

大正五年二月二十一日(月曜)午前十時三十分開會

○委員長(伯爵林博太郎君) 是ヨリ簡易生命保險法案並簡易生命保險特別會計法案ノ特別委員會ヲ開會イタシマス、是ハ差當リ逐條審議ニ移リマス前ニ大體ニ付キマシテ御審議ヲ願ヒマス、重大ナ案デゴザイマスカラシテ差當リ政府委員ノ御方ヨリ本案ノ大體ニ付テ提出ノ理由、目的並其他ノ詳細ノコトニ付キマシテ一應御説明ヲ煩シマス

○國務大臣(箕浦勝人君) 本案提出ノ理由ハ大體先日ノ本會議ニ於テ申述ベテ置キマシタ、尙ホ御尋ニ應ジテ詳細ニ御答イタシタイト考ヘマス、左様……

○委員長(伯爵林博太郎君) ツレバハ是ヨリ大體ニ付キマシテ御質問ヲ願ヒマス

○仲小路廉君 二三遞信大臣ニ御尋ヲ致シタイト思ヒマス、本問題ニ付キマシテハ私モ多少關係有テ居リマス、意見ハ別ニ有シテ居ルノデアリマスガ、今日世上ニ多少ノ疑惑モアルノデアリマス、ツレ等ノ點ニ付キマシテ一應遞信大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、極メテ簡單ニ質問ヲ致ス積リデアリマス、相成ルベクハ簡明ニ御答辯ヲ願フコトニシタイト思ヒマス、第一ニ伺ヒタイト存シマス、何故ニ之ヲ官府ニ於テ獨占ヲシナケレバナラヌカ、斯ウニフコトヲ第一ニ伺ヒタイト存シマス、何故官府ニ於テ獨占ヲシナケレバナラヌカ

○國務大臣(箕浦勝人君) 此簡易保險ハ、普通ノ保險ト違ツタ仕組ヲ以テヤリマスルノデアリマスカラ、普通ノ保險ノ外ニ簡易保險ト云フモノノ機關ヲ設ケルト云フコトガ必要デアリマスガ、御尋ノ通り之ヲ經營スルモノハ官府デ、即チ官營ニスルカ、或ハ民營ニスルカト云フコトデアリマスガ、政府デハ官營獨占ト云フコトノ方針ヲ定メタノデアリマス、其理由ハ此小口ノ、小額ノ保險ヲ扱フノニハ特別ナ組織ヲ以テヤリマセバナラヌナクシテ、コチカラ取リニヤルノデアリマスカラ非常ニ手數ガ掛ル、從ツテ費用モ掛ル、殊ニ又被保險者ヲ診斷スルノモ醫者ノ診斷ヲ用ヒズ素人ノ眼ヲ以テ健康ナリトシタモノヲ

採ル、斯ウニフコトデアリマスノデ、從ツテ死亡率モ多イト云フヤウナコトデ、彼是シマスカラ小規模デハヤリ切レヌノデ、大規模ニシテ始メテ平均ガ取レルト云フ仕組デアリマスノデ、例ヘバ之ヲ一部民營ニ許シマシタ所デ、民營ノ自由競争ニ任シタ所デ、ドウナルカト申スト結局ハ矢張り民營中ノ有力ナル一ツ若クハ二ツノ會社ノ手ニツレガ獨占サレルト云フコトニ至ツテ結局ヲ告ゲル、其間ニハ種々弊害モ生ズルコトデアリマス、而巳ナラズ一ニノ會社ニ獨占サレルト云フデケテ濟ムカト申ストサウデハナクシテ、當然民營デアリマスレバ營利的ニ之ヲ經營スル、細民ノ零碎ノ金ヲ集メテ營利ノ目的、民營獨占ニ歸スルト云フコトノ有様ヲ想像シテ見マスルト其所ニ非常ニ社會ニ變態ガ起ル、反感ガ起ル、色ミナ社會問題ト云フモノガ起ルト云フコトハ歐羅巴諸國ノ實例ニモアルヤウニ考ヘテ居リマス、故ニ是ハ寧ロ始メヨリ官營ニシテ安全ニ經營シタ方が宜シイ、而巳ナラズ官營ニシマスレバ當然此簡易生命保險ハ普通保險ニ較ベマシテ、費用モ餘計掛リマス、從ツテ保險料ト云フモノモ高クナル、併ナガラ成ルベク其保險料ハ廉クスルト云フコトノ爲ニハ、全國ニ散布シテアル所ノ七千有餘ノ郵便局ヲ利用シテ經營ノ機關トスルモノデアリマスカラ、其建物、什器ナドト云フ固定資本ニ於テモ、經費ニ於テモ餘程節約ガ出來ル、之ヲ政府デ經營シマスレバ何モ儲ケラス見込デハナイ、所謂營利ト云フ觀念ハ少シモナイコトデアリマスカラ、彼是先ヅ比較的保險料モ廉ク出來ル、サウシテ被保險者ニ安心ヲ與ヘルコトガ出來ルト云フノガ大體ノ趣意デゴザイマス

○仲小路廉君 其次ニ御伺ヒタシテ置キタイトハ、成ルベク官業ヲ整理シテ其事業ノ内デモ民營ニ移シテ宜シイモノハ努メテ之ヲ民營ニ移ス、斯ウニフコトハ屢々現内閣ニ於テ唱ヘラレタコトデアル、然ルニ今日ノ場合ニ於テ今、此際ニ官營事業ヲ開カレルト云フコトハ是マデ唱ヘラレテ居ツタコトト牴觸ヲ致シハシナイカ、斯ウニフ疑問モアルノデゴザイマス、更ニモウ一ツツレニ續ケマシテ、過日來カラ政府ニ於テハ今日ノ我狀態、殊ニ經濟社會ノ狀態ハ全ク一ツノ變態デアル、一ツノ變態デアツテ、今日ノ此經濟社會ノ狀態ヲ以テ之ヲ通常ノ有様ト見ル譯ニハ往カナイノデアルト云フコトハ、屢々大藏大臣モ述ベラレテ居ラレル所デアリマス、斯ノ如クニ今日ハ内外非常ノ事變ニ際シテ居ル、經濟狀態ハ或ハ意味カラ申セバ變態ナリト云フモノ可ナルカ知レルト思フノデアリマス、斯ウニフ際ニ於テ此簡易生命保險ノ事業ガ縱シ社會ニ必要ナル事柄ト致シテモ、急速ニ之ヲ實行シナケレバナラヌト云フ必要ハ何所ニアルノカ、斯ウニフ點モ今日矢張り世上ニ疑ノアル點デゴザイマス、之ニ付テ遞信大臣ノ御所見ハ如何デゴザイマス

○國務大臣(箕浦勝人君) 御話ノ通り現内閣施設ノ方針ハ官業ヲ整理シテ民業ニ移スベキモノハ之ヲ移シ、民營ニシテ經營シタ方が宜シイ、或ハ官營ニシテモ宜シイ民營ニシテモ、ドツチニシテモ宜シイモノマデモ成ルタケ民營ニスルト云フ方針ヲ採ツテ色ミ調査ヲシテ居リマシタ譯デゴザイマス、併ナガラ其趣意ハ民營ニ適スルモノニシテ、民營ノ未ダ起ラザルモノニ至ツテハ暫ク官營ニシテ置クト云フヤウナ仕組デ、機ヲ見テ更ニ之ヲ民營ニ移スト云フノデ、總テ官營ノ事業ヲ止メテ民營ニスルト云フ趣意デハ無論ナイノデアリ

マシテ、官營トスルガ適當デアッテ民營デハ弊害ガ多イカ或ハ出來ナイト云フモノハ矢張り官營ニシテ居リマス、又ソレ故新タニ起ス事業デアリマシテモ、官營トシテ經營スルガ適當ナリトスルモノハ矢張り官營ト致シマスルノデ、必シモ一切ノ事業ヲ民營ニ移スト云フ趣意デハナイノデアリマス、即チ此簡易生命保險ノ如キモ官營トシテ經營スルヲ以テ適當ナリト認メマシタ爲ニ官營ト云フコトニ致シタデアリマス、今日ノ時勢ハ如何ニモ經濟上非常ナリト變態ヲ現ハシテ居リマス時デアリマスガ、併ナガラ此簡易生命保險ノ事業モ此變態ヲ呈シテ居リマス時デアアル爲ニ延期シナケレバナラヌト云フ必要ヲ認メテ居リマセヌ、今此事業ハ年々急要ヲ感ゼラレテ、モウ長イ間掛テ調査ヲサレテ、サウシテ遂ニ其段取りガ今日マデ來マシテ實行ノ出來ルト云フ所マデ出來上ッタデアリマス、扱其時ハドウデアアルカト云フ御話ノ通り經濟上ノ變態ヲ現ハシテ居リ時デアリマスガ、併ナガラ此事業ヲ經營スル際ニ、今日ノ時ガ變調ノ時デアルト云フ爲ニ其企テ延期シナケレバナラヌト云フ必要ハ認メナイノデアリマス、故ニ是ハ成ルタケ早ク斯ウ云フ事業ハ出來得ラレダケ早ク端緒ヲ開キマシテ、中一朝夕ニシテ完成ヲ告ゲル譯ハナリマセヌ、中ニ社會ノ事情ハ色々複雑ニナッテ居リマスルカ出來得ル限リ早ク之ヲ實行スルト云フコトガ必要デアアル、而カモ今日ハ經濟上變態ノ爲ニ其實行ヲ猶豫シナケレバナラヌト云フ必要ハ今認ナイノデ、今日之ヲ行ヒタイ、斯様ナ考デアリマス

○仲小路廉君 其次ニハ今や世上デ專ラ疑惑ヲ致シテ居リマスルノハ、政府ニ於テ簡易保險事業ヲ獨占シ之ヲ實行スルト云フ結果ガ、謂ハユル民業ヲ壓迫シテ、折角今日マデ發達シ來ッタ保險事業ヲ、將來ニ其發達ヲ阻害スルヤウナ結果ニナリハセヌカ、之ガ爲ニ民業ニ及ボス影響ハ如何デアアルカ、遂ニ之ヲ壓迫シテ萎靡不振ノ極ニ陥イレハシナイカト云フコトデアリマス、之ニ付キマシテ逕信大臣ノ御所見ハ如何デアリマス

○國務大臣(箕浦勝人君) 其點ニ付キマシテハ最モ注意ヲ致シタデアリマスルガ、御承知ノ通り近年此普通保險ノ平均保險金額ト云フモノハ、年々非常ニ上ッテ參リマシテ、大正三年ノ新契約ニ屬スル平均額ハ七百二圓ト云フコトニナッテ居リマス、ソレデ此簡易生命保險ノ最高額ヲ定メルコトニハ、餘ホド注意ヲ致シマシテ、二百圓ト云フコトニ定メマシタデアリマス、最高額ガ二百圓……普通ノ保險ノ多クノモノハ二百圓以上……二百圓カラ始マシテ居ルデアリマスガ、簡易保險ハ二十圓以上三百圓以下ニ定メマシタデアリマス、而シテ是ガ平均ノ平均ニナルモノデアリマスガ、是ハ實行シタ後デナケレバ明白ニハ分ラヌデアリマスガ、併シ何カ之ガ目安ヲ得タイと思ヒマシテ、郵便貯金ノ二十圓カラ二百圓マデノ金額ノモノヲ調ベマシテ、之ヲ口數デ割ッテ見ヌト、七十五圓ト云フ平均ガ出マシタデアリマス、是ハ勿論貯金者ト保險加入者ト悉ク一致スルモノデアリマセヌカラ、ソレガ決シテ精密ナ標準ニハナリマセヌケレドモ、マア凡ソサウニ云フモノデアリマシテ、ズット平均額ノ低イモノデアリマスルシ、又凡テ種類モ違ハマスルカラシテ、是ハ民營ノ普通ノ生命保險ト簡易生命保險トハ自ラ兩立シ得ルモノ、即チ謂ハバ普通保險ノ及バザル所ヲ補フモノデアッテ、決シテ之ヲ競争スルモノデアナイト考ヘルノデアリマス、ソレ故必シモ普通ノ保險ヲ壓迫シテ其發達ヲ阻害スルナドト云フ左様ナ弊ハ生ジナイモノト存シマス

○仲小路廉君 簡易生命保險即チ小口保險ハ英國ヲ始メ諸外國デモ之ヲ官營トシ

テ實行シタ所モアルデアアルガ、諸外國ニ於ケル此官營事業ハ甚ダ其成績ガ舉ラズシテ、極メテ事業不振デアッテ、然ルニ今日之ヲ我國ニ實行シテ果シテ立派ニ成績ヲ舉ゲルコトガ出來ラウカドウカト、是モ一ノ世上ノ疑問デアリマスルガ、之ニ付キマシテノ御考ハ如何デアリマスカ

○國務大臣(箕浦勝人君) 御話ノ如ク英國ノ如キハ官營ノ簡易生命保險ガ甚ダ振ハナイ有様デアッテヤウデアリマスルガ、是ハ唯今取扱ヲシマスル箇所ノ數モ非常ニ少シ總テノコトガ非常ニ消極的ニ過ギタ經營ノヤウニ考ヘラレマス、其邊ガ或ハ不振ヲ來シタ一ノ原因デハナカラウカト考ヘテ居リマス、尙ホ詳細ナルコトハ政府委員カラ……

○仲小路廉君 イエ、先ヅ大體デ宜シウゴザイマス……更ニ進ンデ御尋ヲ致シマス、此保險ヲ實行サレマス爲ニ、隨分地方ヨリ零碎ノ資金ヲ吸收スルコトニナル、各地方ノ資金ヲ、或ハ郵便貯金ノ爲ニ吸收セラレ、鐵道ガ國有ニナッタ爲ニ是亦地方ノ資金ヲ中央ニ吸收セラレ、而シテ又此度官營保險ナルモノガ出來テ、是亦地方ノ零碎ノ資金ヲ吸收シテ、而シテ唯之ヲ中央ニ集ムルト云フコトニナリハセヌカ、是ノ一般ニ及ボス經濟上ノ關係モ容易ナラヌコトデアアルガ、此事業ノ爲ニ吸收セラレタル資金ノ運用ニ付テハ政府ニ於テハドウ云フ處置ヲ取ラレル積リデアリマスルカ、之ニ付テノ御考ヲ伺ヒタイ

○國務大臣(箕浦勝人君) 其運用ノ方法ハ勅令ヲ以テ定メルコトニナリマスルガ、先ヅ大體ヲ申シマスルト、或ハ各府縣ノ公共團體ノ貸付、サウ云フヤウナ種類ノモノニ貸付ヲ致シマシテ、特ニ自然ニ地方ニ……加入者ノ多イ地方ニ多クノ金ガ費サレルト云フヤウナ風ニナリマシテ、免ニ角成ルベク此金ハ社會政策的ノコトニ使ハレテ、一般ノ財政上ニ流用サレラナド、云フコトノナイヤウニ、嚴重ニ之ヲ致シタイト云フ考デアリマス

○仲小路廉君 尙ホ私ハ唯今マデ御尋ヲ致シマシタ點ニ付キマシテ詳細ナ御尋ヲ致シタイト存スルデアリマスガ、何レ皆サナンノ中ヨリモ澤山御質問ガアリマスルコトト存シマスルカラ、先ヅ一ツ是デ差控ヘテ居リマス、場合ニ依リマシテ更ニ御尋イタシマス

○小松謙次郎君 法案自體ヲ讀メバ明瞭ニナルコトデアリマスガ、實ハ此際政府委員カラ法案ノ構成方ニ付テ大體ノ説明ヲ願ヒタイ、他ノ商法其他トノ關係、竝ニ全體ノ法案自體ノ構成ノ主義等ニ付テ説明ヲサレルコトヲ希望イタシマス

○政府委員(松本丞治君) 此簡易生命保險法ノ全體ノ大體ノ御説明ヲ申上ゲマス、簡易生命保險ハ既ニ逕信大臣カラモ御話ガアリマシタ通り、經營カラ申シマスルト全然通常ノ生命保險ト異ナッテ居ルノデゴザイマシテ、保險學上デハ通常ノ生命保險ト別物デアルト云フコトニ一般ニナッテ居リマス、併ナガラ保險法カラ申シマスルト矢張り生命保險ノ一種ニ外ナラナイノデゴザイマシテ、若シ之ヲ民營ノ營業トシテ經營イタシマシタナラバ、矢張り商法ノ適用ヲ當然受クベキモノト考ヘラレルノデゴザイマス、然ルニ今回ノ案ニ於キマシテハ官營獨占デ之ヲ經營スルト云フコトニナリマシテ、之ヲ官營獨占トシテ經營スルニ付キマシテハ、簡易生命保險ト如何ナルモノヲ指スノデアアルカト云フコトヲ明カニ極メル必要ガゴザイマス、其趣旨ヲ以テマシテ第三條乃至第五條ヲ主タル條文ト致シマスルガ、先ヅ大體サウ云フヤウナ條文デ此簡易生命保險ノ範圍、意義如何ト云フコトヲ大體定メマシテ、又第一條、第二條等ニ於キマシテ其官營デアアル、又獨占デアルト云フ趣旨ヲ明カニシタ譯デゴザイマス、其他ノ點ニ付キマシテハ若シモ國家ガ之ヲ營

業トシテ經營イタシマシタナラバ、矢張り商法中ノ生命保險ニ關シマスル規定ガ當然適用セラルベキデゴザイマスガ、此法案ニ於キマシテハ簡易生命保險ノ經營ハ國家ガ營業トシテ之ヲ爲スノデハナイ、全然非營利ト云フ見解ニ立チマシテ、何等之ニ依ツテ收益ヲ圖ル趣旨ハナイト云フ積リデゴザイマスルカラ、其結果ト致シマシテ營業トシテ保險契約ヲナスト云フコトニハナリマセヌ、其爲ニ商法中ノ生命保險ニ關シマスル規定ハ當然適用シナイコトニナリマス、玆ニ於テ商法中ノ生命保險ニ關シマスル規定ヲ矢張り此簡易生命保險ニ準用スルノ必要ヲ感ジテ參リマシタ、其趣意ヲ以チマシテ第二十四條ニ於キマシテ特定ノ商法中ノ規定ヲ簡易生命保險ニ準用スルト云フコトニ定メマシタノデゴザイマス、更ニ進ミマシテ商法中ノ生命保險ノ規定ヲ以テ足レリトシナイ點ガゴザイマスル、即チ簡易生命保險ノ特別ノ性質ニ基キマシテ、多少商法ノ規定ヲ補充スルコトノ必要ヲ感ズルノ點モゴザイマス、又或ル場合ニ於キマシテハ商法ノ規定ト違ッダ意味ノ規定ヲ設クル必要モ感ジタモノガゴザイマシタ、而シテ民營ノ保險會社ニ於キマシテハ是等ノ規定ノ或ルモノハ矢張り通常生命保險ニ付テモ必要ヲ感ジテ居ルモノガゴザイマシテ、是等ハ民營會社ニ於テハ約款ヲ以テ之ヲ定メテ居ルノデゴザイマス、即チ商法ノ規定ハ大體ニ於キマシテ任意規定デゴザイマスカラ、約款ヲ以テ其定メヲ爲スコトヲ得ルノデアリマス、然ルニ此法律ニ於キマシテハ是等民營會社ガ約款ヲ以テ定メテ居リマスルヤウナ規定モ、矢張り法律ヲ以テ之ヲ定メルノ必要ヲ認ムルノデゴザイマスルカラ、其意味ヲ以チマシテ通常會社ガ或ハ約款ヲ以テ定メテ居ル規定、即チ例ヘバ保險料ヲ拂込ミマセヌ場合ハ契約ガ失效ニナリマス、其失效後ニ於キマシテ復活ト云フヤウナコトヲ認メ、或ハ保險契約者ガ何時モ解約ヲナスコトヲ得ルト云フヤウナ點、是等ハ民營會社デハ約款ヲ以テ定メテ居リマスルガ、本案ニ於キマシテハ之ヲ法律中ノ規定ヲ以テ定メテ次第デゴザイマスル、而シテ斯ノ如キ商法ノ規定ニ對シマスル補充ノ規定、又ハ變更ノ規定以外ニ於キマシテ、簡易生命保險ガ政府ニ依ツテ經營セラレマス爲ニ、或ハ特別ノ必要ヲ感ズルト云フ趣旨ヲ以テ定メテ規定モゴザイマスル、例ヘバ此簡易生命保險ニ關シテ爭ガ出來マシタヤウナ場合ニ、直チニ之ヲ民事訴訟ニ訴ヘサスト云フヤウナコトガゴザイマス、極メテ小額ニ付テ爭ツテハ到底……主トシテ下層社會ニ屬シマスル被保險者、或ハ保險契約者ハ之ヲ爭フ爲ニ訴訟ヲ起スト云フコトガ出來ナイヤウナコトガアリマス、究極スル所迄寢入ニナツテシマフコトヲ考ヘマシテ、簡單ナル書面ニ依ツテ審査スル審査會ト云フモノヲ設ケマシテ、先ヅ其審査會ニ書面ヲ提出シテ一應政府ノ處分ニ對スル審査ヲ求メ、尙ホ之ニ異議アル者ハ始メテ民事訴訟ニ訴ヘ出ルト云フヤウナコトヲ定メマシタ、其他簡易生命保險ニ關スル郵便物ハ無料トスル、又ハ書類ニハ印紙稅ヲ課サヌ、簡易生命保險ノ金額ヲ受取ル權利ハ之ヲ差押フルコトヲ得ナイ、又ハ讓渡スコトヲ得ナイト云フヤウナ、政府ガ之ヲ經營シマスニ付テ必要ト認メマシタル特別ノ規定ヲ設ケマシタ、大體ニ於キマシテ簡易生命保險ノ意義ヲ定メ、其他根本的ノ主義ヲ定メマス規定ハ商法ノ規定ヲ準用スル旨ノ規定ト、商法ノ規定ヲ補充又ハ變更スルト云フ特別規定、及簡易生命保險ノ爲ニ特ニ設ケマシタル便宜規定、大體四種ノ規定ガ合サレマシテ此法案ガ組織サレテ居ルト云フ次第デゴザイマス、尙ホ各條ノ細カイコトニ至リマシテハ、御質問ニ依リマシテ御答ヲ致シマス

○水野鍊太郎君 私ハ法案ノ内容ニ付テヨリハ寧ロ大體ニ付テ二三承ツテ置キタイ、此簡易生命保險ナルモノハ遞信大臣ノ本會ニ於ケル御説明ニ依リマシテハ、是ハ主トシテ下級民ニ對スルモノデ、而シテ之ニ依ツテ下級民ノ保護ヲナサストスルモノデアルト云フヤウナ大要ノ御趣旨デアアルヤウデアリマス、世間ノ者ハ之ヲ稱シテ或ハ是ハ社會政策ニ基クモノデア、否ヤサウ云フモノハ社會政策デアナイト云フヤウナ説ヲナスノデアリマスガ、果シテ是ガ社會政策デアアルカドウカト云フコトハツレハ政府ニ於テ問フ所デアナイ、要スルニ下級民ノ保護ト云フコトガ目的ト云フヤウナ御説明ノヤウニ承リマシタガ、左様デアラウト存ジマスルガ、サウ云フ趣旨デアリマスルナラバ、私一ツ伺ヒタイ點ガ生ズル、成ルホド下級民ノ保護モ必要デアラウ、併シ下級民ノ保護ハ必シモ生命保險ノミガ下級民ノ保護デハナイ、マダ其他ニ付テ各種ノ仕事ヲサネバナラヌコトガ多クアルデアラウト思ヒマスガ、是ハ別問題ト致シマスガ、要スルニ斯ウ云フ趣旨デア、簡易生命保險ノ官營ニセムトスルモノデアラナラバ、私ハ一步進ンデ何故ニ政府ハ所謂勞働強制保險ヲ行ハナイ簡易生命保險ハ主トシテ下級民保護ニハナリマセウカ、同時ニ又中流以上ノモノニモ及ボスコトガアリマス、下級民ノ保護ノ必要、勞働者保護ノ必要、所謂社會政策ト云フコトヲ必要トスル、其外國ニ行ハレテ居ル勞働強制保險、傷害保險、疾病保險ノ如キハ最モ急ナモノデアラウト思フ、已ミナラズ簡易生命保險ナルモノヲ造ツテ勞働者保險ナルモノニ及バザルノハドウ云フ趣旨デアリマセウカ、先ヅ此點ヲ第一ニ承リタイト思ヒマス

○國務大臣(箕浦勝人君) 強制的勞働保險ナドノコトハ追々實行スルコトニ相成ルデアラウト思ヒマスガ、併ナガラ是ハ工場法ノ如キモノガ本年初メテ實行サレルト云フヤウナコトデアリマスノミナラズ、此強制的勞働保險ヲシマス爲ニハ餘ホド國庫ノ負擔モ大キクナリマスシ、今日ノ場合急ニ之ヲ行ヒマスト云フコトハ實際上困難デアリマス、此簡易生命保險デアリマスレバ其方ノ困難ト云フモノハ餘リナク實行シ得ラレ、實行シ得ラレモノカラ段々ヤツテ行ク、其他ノ經營ハ後年ニ於テツレ……追々企テラレルト考ヘマス

○水野鍊太郎君 此簡易生命保險ハ先キホド私ガ申シマシタ主トシテ下級民方面ニアルト云フコトガ趣旨デアラウト思ヒマスガ、ツレガ主タル目的デアリマセウカ、將タ此生命保險官營ニ依ツテ得タル利益ニ依ツテ彙ニ遞信大臣ガ御述べニナリマシタ社會主義的、社會政策的施設ヲナスト云フコトガ主ナンデアリマセウカ、能ク世間ノ簡易生命保險ハ社會政策ノ趣旨ニ基イタモノデアルト云フコトヲ申シマスガ、私ハ社會政策ニ基クモノデアラウガナカラウガ何レデモ宜シイノデアリマスガ、要スルニ是ハ下級民ヲ保護シヤウト云フノガ主タル目的デア、將タ大體トシテハ此生命保險ニ依ル資金ニ依ツテ社會政策的事業ヲスルノガ主デアリマセウカ、其邊ノ關係ハドウ云フコトニナツテ居リマスカ

○國務大臣(箕浦勝人君) 大勢ノ下級民ニ保險ノ恩澤ヲ及ボスト云フコトガ主デアリマシテ、ツレガ爲ニ事業ヲ經營スル、此事業ヲ經營イタシマス、ドウシテモ自然ノ結果トシテ此所ニ積立金ガ出來テ參リマス、其積立金ノ處分ヲ要スル、詰リ利殖ノ方法ヲ取ル、サウシテドウ云フコトニ用ヒルカト云フト先刻御答シタヤウナ方法デ、或ハ產業組合トカ云フヤウナ公共團體ニ使用スルト云フ風ニ用ヒルデアリマシテ、其金ヲ集メテサウ云フコトニ使フト云フコトガ目的デアナイノデアリマシテ、下級民ニ保險ノ恩典ヲ與ヘ、サウ

シテ保險ニ這入ッテ約束シタ金額ハ或ル時機ニ於テ返シテ呉レル、其間ハ毎月毎月掛金ヲシテ行ク、即チ連續ノ思想ヲ持タシテ行クト云フヤウニ義ウテ行クト云フヤウナ其方面ノコトガ主デアリマシテ、決シテ集メタ金額ヲ他ノコトニ使フコトガ主デハナイノデアリマス、此施設ノ結果トシテ積立金ノ運用ト云フコトガ生シテ參リマス、其使ヒ方ハ右様ナコトデアリマス、斯ウ云フノデアリマス

○水野鍊太郎君 次ニ御尋ネ致シタイノデアリマスガ、從來ノ民營會社ニシテ二百圓以下ノ保險ヲナシテ居ル會社ガアルノデアリマスガ、ソレハドノ位アルノデアリマスガ、ソレカラ尙ホ承ル所ニ依リマスレバ從來三百圓以下ノ保險ヲ出願シテモ政府ハ之ヲ許サナカッタト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、果シテ左様アルノデアリマスガ、左様アルノナラバ三百圓以下ノ保險ヲ民營會社ニ何故許サナカッタノデアリマスガ、ソレヲ伺ヒタイ

○政府委員(松本丞治君) 唯今ノ御質問ニ御答ヘ致シマス、三百圓以下ノ保險ハ、生命保險ハ二百圓ヲ契約シ得ル會社ガ七社アリマス、ソレカラ二百圓ヲ契約シ得ル會社ガ一社、二百圓ヲ契約シ得ル會社ハ其他非常ニ多クナッテ居リマス、二百圓ヲ最低限トシテ居ル會社ハ非常ニ多クナッテ居リマス、併ナガラ是ハ實際ニ於キマシテ、例ヘバ百圓ヲ契約シ得ルコトニ許サレテ居リマシテモ事實サウ云フ契約ヲ取りマセヌ、餘ホド高イ保險ヲナケレバ取ラヌト云フ會社モアリマス、一例ヲ舉ゲマスト日本生命保險會社ノ如キハ百圓ヲ契約シ得ルコトヲ許サレテ居リマスガ、是ハ餘ホド前カラ百圓ヲ契約ト云フモノハ止メテ居リマシテ、現今ニ於キマシテハ五百圓以上ノ契約ニ限ッテ之ヲ取ルト云フコトニ致シテ居リマス、サウデゴザイマスカラ此意味ニ於ケル數ト、事實行ッテ居ル數ト必シモ一致スルモノデハナイノデアリマス、而シテ農商務省ニ於キマシテ二百圓以下ノ通常生命保險ヲ許サザル方針ヲ數年來執ッテ居リマス其趣意ハ、小額ノ通常保險ハ比較的經費ヲ餘計ニ要シマス、斯ノ如キ小額ノモノヲ餘計ニ取リマスト基礎ヲ危クスル虞ガアルデアリマス、ソレヲ通常保險ノ方法ニ依リマスト小額ノ保險デアリマシテモ同ジク身體檢査ヲ要スル、其他各種ノ手續ニ於キマシテ小額ノ保險デアリマスト多額ノ保險デアリマストハ經費ノ上ニ於テハ餘リ選ブ所ハナイノデアリマス、而シテ之ニ依ッテ收入シ得ル保險料カラ申シマスト大變違ヒマシテ、保險料ハ保險金額ト丁度比例シテ小額ノモノハ少イト云フコトニナリマス、其結果ト致シマシテ小額ノ契約ヲ受取ルト云フコトニナリマスト會社ノ經營ノ基礎ヲ危クシマス、從ッテ多クノ者ニ迷惑ヲ掛ケル虞ガアル、要スルニ此小額ノ保險ハ簡易保險ト云フヤウナ別個ノ方法ニ依ッテヤッテ成立チ得ルモノデ、自ラ簡易保險ノ契約ニ屬スベキ金額ノ保險通常ノ生命保險ニ屬スベキ金額ノ保險トノ分界ガナケレバナラス、其分界ヲ何處ニ置クカト云フコトハムツカシイ問題デアリマスガ、農商務省ノ當時ノ考デハ先ヅ三百圓ト云フ所ヲ以テ分界トスルガ相當デハナカラウカト云フ考デ、新シイ免許ニ付キマシテハ三百圓以下ノ通常生命保險ハ一切之ヲ許サヌト云フ方針ヲ取ツタモノト認メテ宜シイカト思ヒマス

○水野鍊太郎君 唯今ノ御説明ニ依リマスレバ三百圓以下ノ保險契約ヲナシタ民營會社ガ既ニ從來成立ッテ居ル、然ルニ此度簡易生命保險法ノ結果ト致シマシテ三百圓以下ノ保險契約ヲナシ得ルモノハ官ニ限ル、即チ國家ニ限ル、斯ウ云フコトニナリマスレバ、從來三百圓以下ノ保險契約ヲナシ得タモノノ權利ト申シマスガ、利益ト申シマス

カ、サウ云フヤウナモノヲ侵害スルト云フヤウナコトニナリハシナイカ、所謂世間デ言フ所ノ是ハ民業壓迫デアルト云フヤウナコトヲ申スノデアリマスガ、其批難ハドウシテモ免レルコトハ出來ナイト思フノデアリマスガ、ソコハ如何デアリマスガ、ソレカラ先程仲小路君ノ御尋ニ對シテ遞信大臣ハ民營ノ保險事業ト此度ノ官營ノ保險事業トハ必シモ相交渉スルモノデナイカラ、之ニ依ッテ必シモ民營ノ事業ガ障礙ヲ受ケルモノデナイト云フ意味ノ御答ガアッタヤウニ思フノデアリマスガ、唯今松本政府委員ノ御説明ニ依リマスルト、ドウ致シマシテモ二百圓以下ノ保險契約ヲ民營會社ガ是モヤッテ居ルト云フノデアリマス、其中ニ官營ガ這入ルノデアリマスガ、ソレデケノモノハドウシテモ侵サレルト言ハナケレバナラス、世ノ保險關係者ガ此度ノコトハ我々ノ利益ヲ侵スモノデアルト云フヤウナコトヲ言フノデアリマスガ、多少ドウモソレニハ眞理ガアルヤウニ思フ、絕對ニ無關係ノモノ、別々ノモノナラバ斯ル批難ハナイ答デアル唯今ノ御説明カラ言ヒマシテモ、ドウシテモ其點ニ於キマシテハ民營會社ト云フモノハ打撃ヲ受ケル、壓迫ヲ蒙ルト云フコトハ已ムヲ得ナイコトト思フノデアリマスガ、其邊ノ所ハ如何ナモノデアリマスガ

○政府委員(松本丞治君) 唯今ノ御質問ノ前段ノ所ニハ多少或ハ誤解ガアッタカト考ヘマス、外デモアリマセヌガ此簡易生命保險法ニ於キマシテハ簡易生命保險事業ハ保險會社ヲ營ムコトハ出來ナイ、政府ノ獨占デアルトニ致シテ居リマス、併ナガラ此所謂簡易生命保險ト申シマスルノハ單ニ二百圓以下ノ生命保險ト云フ趣意デアリマセヌ、三百圓以下ト云フコトモ要件デアリマスガ、其重ナル要件ハ無審査ト云フコトデアリマス、即チ無審査デ二百圓以下ノ保險ヲスルト云フコトニナリマス、此ノ如キ生命保險ハ未ダ民營會社デハ一モ經營シテ居ルモノハナイノデアリマス、隨ッテ新タニ此法律ヲ施行スルコトニ依リマシテ從來民營會社ノ經營シテ居リマスル或事業ヲ正面カラ禁止スルト云フヤウナコトハ一切ナイノデアリマス、即チ二百圓以下ノ契約ヲ從來結ビ得タ所ノ保險會社モ依然トシテ之ヲ結ブコトハ此法律ニ毫モ觸レル所ハナイノデアリマス、而シテ更ニ進ミマシテ……併ナガラ二百圓以下ノ部分ニ於テハ民營會社ハ通常ノ保險ヲナスコトヲ得ル、簡易保險ヲナスコトヲ得ル、矢張り接觸シタ所ガ出來マスカラ即チ百圓以上三百圓迄ト云フ範圍ニ於キマシテ接觸シタ所ガ出來マスカラ、此點ニ於テ壓迫トカ或ハ競爭トカ云フ虞ハナイカト云フ御議論ガ多分今ノ御質問ノコトガラウト考ヘマス、是ハ甚ダ御尤モナコト、考ヘマス、併ナガラ既ニ遞信大臣カラ申述ベマシヤウニ此保險ノ主トシテ目的ニシテ居ル所ノモノハ寧ろ百圓以下ノモノニアル、其結果保險金額ハ先ヅ七十五圓ニモナラウカト云フコトヲ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、大體ニ於キマシテ百圓以內ト云フ所ガ最モ契約ノ多イ所ト我々ハ見込シテ居リマス、百圓以上二百圓ト云フモノニナルト餘程少イ、又二百圓以上三百圓ニ至ッテハ餘程少イヤウニ見込シテ居リマス、此見込ガ或ハ間違フト云フコトハ或ハ有リ得ルカモ知レマセヌガ、大體左様ニ考ヘテ居リマス、而シテ百圓以上三百圓ト云フモノガ假令少シデアリマシテモ、國家ガ生命保險ヲ經營スルコトニナリマスルト通常生命保險ト接觸スルト云フコトハ有リ得ルノデアリマスガ、此點ニ至リマスルト政府ノ簡易生命保險ノ方ガ保險料ガ遙ニ高イ、大體ニ於キマシテ先ヅ二割見當高イ、其理由ハ何デアルカト云フト勿論政府デハ非營利ト云フ考ニ立ッテ居リマス、又經費ハ出來得ル限り郵便局等ヲ利用シマシテ節約スル考デハ居リマスガ、

併ナガラ基本ニナリマスル死亡率ト云フモノガ非常ニ簡易保險ニ於テハ高イ、即チ通常ノ生命保險ニ於キマシテハ各社此死亡率ノ表ハ必シモ一定シタモノヲ用ヒテハ居リマセヌ、或ハ英吉利ノ十七會社表ト云フヤウナ古イ表ニ依テ居ルモノモゴザイマス、其他色ミナモノガゴザイマスガ、畢竟スルニ普通經營シテ居リマスノ健康者ヲ選擇シマシテ、其選擇サレタ健康者ノ死亡率ヲ表ニシマシテ、之ヲ基礎トシテ保險料ヲ計算シテ居リマス、其結果保險料ト云フモノハサウ高クナク出來ル、簡易保險ニ於キマシテハ先ヅ以テ如何ナルモノモ這入デ來ルト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌ結果ト致シマシテ、死亡表ハドウシテモ一般ノ死亡表即チ國民死亡表ト云フモノヲ基礎トシナケレバナリマセヌ、尙ホ本案ニ於キマシテ十分ナル安全ヲ圖ル爲ニ之ニ二割ヲ附加シテ死亡表ヲ定メテ居リマス、其結果純保險料ト云フモノハ餘程固マッテ居マス、其保險料ガ他ノ私設ノ會社ト較ベマスルト約二割位ハ高イ、概シテ二割位ハ高イト云フ結果ヲ生ズルデアリマス、尤モ民營會社ノ反對論者ハ屢ニ終身保險ノ部分ハ簡易保險ノ方ガ成程高イ、二割高イガ養老保險、大部分ヲ占メル養老保險ノ分ハ高クナイト云フ數字ヲ擧ゲテ説明サレルコトガゴザイマスガ、是ハ實ハ少シ間違テ居リマス、是等ノ基礎トナデ擧ゲラレテ居リマスル數字ガ所謂利益配當付ノ保險ノ保險料ノ數字デアリマス、政府ノ方ニ於キマシテハ利益配當付ト云フコトハ致サヌコトニナテ居リマス、然ルニ民營會社ノ方ハ利益配當付デアリマス、此論者ノ擧ゲテ居マスル數字ガ利益配當付保險ノ保險料デアリマス、利益配當付ト申シマスルノハ詰リ保險料ヲ餘計取ツテ置キマシテ其一分ヲ利益トシテ拂戻スト云フコトデアリマス、畢竟利益トシテ拂戻サレル分ダケヲ保險料カラ減ジタモノガ眞ノ保險料ニ當ルト云フ考デアリマス、サウ致シマスルト矢張り政府ノ方ガ遙ニ簡易保險ノ保險料ノ方ガ高イ、サウ云フヤウナ譯デアリマスカラ接觸シテ居リマスル範圍、即チ百圓以上三百圓ノ契約ニ於キマシテモ先ヅ以テ政府ノ考テハ保險料ノ高下ト云フコトヲ眼中ニ入レテ契約サレテ居ルカラ進シデ……即チ通常ノ生命保險ニ加入シタモノガ進シテ簡易保險ニ加入シテ來ルモノハ出來ヌト見ナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、尙ホ實行スルト申シマシテモ此簡易保險ノ趣意ハ勿論成ルベク契約ヲ得ムトスレバ下層社會ニ保險ヲ及ボシテ行キタイト云フ趣意デゴザイマスカラ、實行上ニ於キマシテ出來得ル限リ民營ト接觸スル範圍ニ於キマシテ民營ノ範圍ヲ侵シテ普及セシムルト云フコトハ毫モナイ、デアリマスカラ募集手數料或ハ集金手數料ニ於キマシテモ大キイ額ノ保險ニ付キマシテハ小サイ額ノ保險ニ付テ三等郵便局ニ給付スル手數料ヨリ率ヲ低メル手段ヲ執リマス、其他各種ノ手段ヲ執リマシテ民營保險ニ這入ル人ヲ誘拐シテ貰フト云フコトハ制度ニ於テモナイ、又實行ニ於キマシテモ十分ニ戒飭シテ、無イヤウニ致シタイ覺悟デアリマスカラ、先ヅ以テ民業ニ大ナル影響ヲ與ヘルコトハ斷ジテナイト云フコトヲ考ヘテ居リマス

○水野鍊太郎君 今一應承リタイノデアリマスガ、唯今ノ御説明ニ依レバ免ニ角民營保險會社ニ於テモ三百圓乃至百圓ト云フ間ノ保險ガアルコトデアリマス、而シテ謂ハニル簡易保險ニ於テハ三百圓以下ノモノデアリマスカラ、成ルホド性質ハ違ヒマセウガ、要スルニ被保險者カラ申シマスレバドチラノ方ニモ行ケル途ガアリマス、從テ其官營ト民營トノ間ニ接觸ガアル、從テ其間ニ競争モアラウシ壓迫モアラウト云フコトハ事實免レヌコトト思ヒマス、唯、唯今ノ御説明ニ依レバ成ルベクサウ云フコトヲシナイデアラウ、シナイコト

ヲ期スルト云フデケデアリマスガ、被保險者ノ側カラ申シマスレバドチラニ這入ッテモ宜シイノデアリマスカラ其間ニ接觸ガアルコトト思ヒマス、遞信大臣ニ伺ヒタイコトハ外ニモ澤山アリマスガ、是ハ他ノ御方モ御尋ガアラウト思ヒマスカラ私ハ差控ヘマスガ、斯ノ如ク多少ナリトモ……謙遜ノ言葉ヲ以テ言ヒマスノデアリマス、多少ナリトモ民營ノ事業ト接觸ノアルヤウナ謂ハニル簡易保險ト云フモノヲ急ニ行ハナケレバナラヌト云フ理由ハドウ云フ所ニアルノデアリマセウカ、尤モ是ハ今日起ツタモノデナイ、箕浦遞信大臣ノ時代ニ起ツタモノデアリマス、從來カラ其説ハアッタノデアリマスガ、今日急ニ此事ヲ行ハナケレバナラヌト云フ理由ハドウコニアリマスガ、成ルホド下層民ノ保護、勞働者ノ保護ハ必要デアリマセウ、若シコレガ必要デアレバ多少國費ガ掛ツテモ調査ヲ要シテモ勞働者保險ノ如キハ急務デアルトシナケレバナラヌ、其方ヲナサラズシテ特ニ簡易保險事業ヲ官營トシテヤラナケレバナラヌト云フコトハ如何ナコトデアリマセウ、官營事業整理ノコトハ現ニ現政府ニ於テモ御考ノアルコトデアリマシテ、出來得ル限リ官營事業ヲ整理ナサラウト云フ御考デアリマス、尤モ是ハ先程御答ノアリマシタ如ク總テノコトヲ必シモ民營ニ移スト云フ意味デナイ、必要ノモノハ尙ホ官營ニ致シテモ宜イト云フコトデアリマス、コレハ其通りデアラウト思ヒマス、要スルニ官營事業ヲ整理セムトスル際ニ於テ、而カモ民營會社ガ多少……多大ノ壓迫、打撃ヲ受クル如キ斯ル事業ヲ特ニ此際ナサラナケレバナラヌ理由ハドウ云フ所ニアルノデアリマセウカ、ソコヲ一ツ遞信大臣カラ承リタイ

○國務大臣(箕浦勝人君) 此民營ノ事業ヲ必ズ壓迫スルモノデナイト云フコトハ政府委員カラ御話ヲ申上ゲマシタガ、尙ホ此點ニ付テ申述ベテ置キマス、此簡易生命保險ハ此方法ニ依リマスレバ民營トカ官營トカ云フモノニ拘ラス普通ノ生命保險トノ關係ハ同一ノモノト考ヘルノデアリマス、例ヘバ茲ニ今回提出シテアリマス所ノ方法ニ依テ民營ヲ以テ之ヲ經營スルト致シマシタトキモ、コレカラ官營ニ致シマシタトキモ普通ノ生命保險ト云フモノトノ關係ハ同一デアラ、餘リ其間ニ差ハナイモノト見ルノデアリマス、コレハ官營デアルカラ民營ヲ壓迫シ、民營デアルカラ民營ヲ壓迫シナイト云フコトハナイ、其點ニ付テハ官營モ民營モ同ジコトデアリマスガ、併ナガラ今申シマス通り此仕組ガ決シテ同一ノモノデナクシテ違ツタ性質ノモノデアリマスカラ、詰リ一方ノ足ラザル所ヲ補フノデ、競争スルモノデナイト云フコトヲ申上ケルノデアリマス、故ニ其點ニ付テハ或ハ多少ノ影響ガアルカモ知レマセヌガ、併ナガラ壓迫トカ打撃ト云フヤウナ言葉ヲ使フ程ノ大ナル影響ハナイコトト信ジマス、尙ホ急ニ行ハレ、急ニ行フト云フコトハナイノデアリマシテ、御説ノ中ニアリマシタ通り永イ間ノ懸案デアツテ、今日マデ調査ヲ續ケテ參リマシタ、サウシテ年一年トス様ナ施設ヲナスコトノ必要ガ増シテ參リマシタ、ソレカラ調査モ段々歩ラ進メテ參リマシタ、ソレガ今日調査ガ出來上テ之ヲ行フ自然ノ成行キニナツテ參リマシタノデ、特ニ急ニツイデスルト云フ譯デアナイ、併ナガラ今日ノ時勢ガ時勢デアルカラドウカト云フコトニ付テハ大ニ考慮ヲ致シマシタノデアリマスガ、併ナガラ今日ノ變態ヲ成シテ居ル時勢ニアリマシテモ空シク之ヲ延期スルノ理由ハ見出サヌノデアリマス、今日行ウテ差支ナイト云フコトヲ考メテ之ヲ實行シタイト云フコトニ致シマシタノデアリマス

○鎌田勝太郎君 私モ澤山ナル質問ヲ持ッテ居リマスガ、併シ其質問ハ後ニ致シテ今仲小路君及水野君カラ遞信大臣及政府委員ヘ御尋ニナツタ其答辯ニ付テ更ニ疑ガ

起ツテ、此際ソレダケ御尋イタシタイ、此簡易保險法案ハ政府ガ社會政策ノ爲ニヤルノ
デアツテ、一方ニ於テ公益ヲ圖ルガ爲ニ從來ノ民業會社ニ壓迫ヲ來シテモ差支ナイト云フ
御考テ御ヤリニナツタコト思ヒマシタラバ、先刻遞信大臣ノ御答ニ決シテ民業壓迫ニナラ
ヌ斯ウ云フヤウニ御答ニナリマシタガ、左様デゴザイマス、私ハツイ聽違カト思ヒマスノデ、
念ノ爲ニ確メテ置キマス、ソレカラ更ニ御尋イタシマス

○國務大臣(箕浦勝人君) 左様デゴザイマス、民業壓迫ト云フコトニナラヌト云フ考
デアリマス

○鎌田勝太郎君 然ラバ遞信大臣ニ御尋イタシマスガ、此問題ヲ深ク研究シテ民業
ヲ壓迫スル認メタ時分ニハ御撤回ニナリマス

○國務大臣(箕浦勝人君) 政府デハ壓迫スルモノデナイト信ジテ居リマス故ニ撤回イ
タシマセヌ

○鎌田勝太郎君 ソレハ唯今政府ノ御所見デゴザイマセウガ、是カラ互ニ研究ヲシタ
結果壓迫スルモノト云フコトニ歸著シタ以上ハ御撤回ニナリマス

○國務大臣(箕浦勝人君) ソレハ左様ナコトハ想像シ得ラヌコトデアリマス、故ニ何
等ノ考モ有ツテ居リマセヌガ、左様ナコトニナリマシタナラバ、ソレニ依ツテ又更ニ考ヲ致サ
ナケレバナラヌト思ヒマス

○鎌田勝太郎君 ソレダ分リマシタ、ソレカラ續イテ御尋ネ致シマスガ、先刻遞信大臣
ハ決シテ民業壓迫ニナラヌト仰シヤリ唯今モ仰シヤリマシタガ、其ナラヌ理由ハドウ云フ譯
カト云フト、二百圓ト云フ限度ガアル、現在ノ民營會社ハ二百圓以上デアアル、簡易保
險ハ二百圓以下デアアルト斯ウ仰シヤラマセヌガ、此參考書ヲ見マシテモ又先刻政府委
員ノ御答辯ニ依リマシテモ、現在ノ民營會社ハ二百圓以下デアアル、又二百圓、百圓以
下モヤツテ居ル、其會社ノ數ハ此表ニ依ツテ調ベルト三十五アリマス、ソレデ二百圓以上
ヲシテ居ル會社ヨリ三百圓以下ヲシテ居ル會社ガ澤山アルデアリマス、之ヲ金額ニ依
テ調ベテ見マシテモ政府カラ出サレタ參考書ニ依リマシテモ、二百圓ヲ超エナイモノガ一
億二千七百萬圓、ソレカラ五百圓ヲ超エヌト云フモノガ四億五千四百萬圓、デ總體ハ
幾ラカト云フト、十億六千萬圓デアアル、デ此三百圓ト云フノハ一口ガ三百圓デ例ヘバ
今一家ノ中デ家族ガ二人居ル、二人居ルモノトスルト一人ガ三百圓ツツ附ケレバ二三
ガ九百圓附ケルコトニナル、サウシテ從來ノ保險ハ身體検査ヲスル、又家族ガアツタラ總
テ附ケルコトハ出來ヌ、今度ハ身體検査ガナイカラ十二歳以上六十歳マデ總テ附ケルコ
トガ出來ル、一家ノ中デ二人デ九百圓、五人アレバ千五百圓マデ附ケルコトガ出來ル、
スルト隨分民業ヲ壓迫セヌト云フコトガソレデモ言ヒ得ルコトガ出來マセウカ、又先刻
政府委員ガ民業ノ會社ヨリハ掛金ガ高イ、二割高イト云フ、是ハ私ノ方デ計算シテ居
リマセヌカラ精シイコトハ何ハ出來マセヌガ、假ニ二割高イト平均見マシタ所ガ、片方ハ
身體ノ検査ヲスル、コチラハ身體ノ検査ハシナイ、ドンナ者デモ這入ルコトガ出來ルノデア
アル、ソレカラ又事實ノ上ニ於テ名ノ如ク誠ニ簡易ナ保險デアツテ、是ニ這入ルニ誠ニ樂デ
アル、從來ノ不便ハ少シ身體ノ惡カラウト思フ者ハ醫者ガ検査シテ貰フノガ嫌ヒデアアルカ
ラ、マア保險ニ入ルヲ延バシテ置ク、或ハ又少シ身體ガ惡ルイト言ツテ、割増サレルカト
思ツテ遠慮スル者ガアル、トコロガ今度ハ一向サウ云フコトガナクシテ簡易ニ這入レルカラ

二割位ハ高ウテモ一向惡レルコトハナイ、二割高クテモ簡易ノ方ニ這入ツテ來ル、私ナド
ノ考ハ此法律ガ通ツタナラバ三百圓以下ノ通常保險ニ這入ル者ハ一人モナイデラウト思
フ、サウスルト民業壓迫デハナイカト思フ、ソレト先刻モウ一ツ政府委員ガ仰シヤツタノハ
主トシテ百圓以下ニ止メタイト云フ御説デアリマスガ、ソレナラバ、イッソ百圓ト制限シテ
ハドウデスカ、百圓以下ト御極メニナレバ、百圓以下ナラバ民業保險ガ蒙ル所ガ輕クナ
ル譯デアアル、百圓以下ニ止メタイト云フ御説デアレバ、此法律モ百圓以下ト御極メニナツタ
ナラバ宜カラウト思フ、大體先刻カラ御答辯ニナツタコトニ付テ疑ノ起ツタコトハ其通りデ
アリマス、今一應御答辯ヲ願ヒマス

○政府委員(松本恭治君) 唯今ノ御質問ハ大體四ツバカリノ御趣意ノヤウニ伺ツテ
居リマス、第一ハ二百圓以下ノ契約ヲ爲シ居ル會社ガマダ餘ホドアル、數ガ餘ホドアル、
且ツ實際ノ契約モ大分アル、又五百圓以下ヲ見ルト餘ホドノ金額ニナツテ居ル、然ラバ
是等ト大ナル接觸ヲ生ジハセヌカト云フ御話デアリマシタガ、是ハ屢、遞信大臣モ申サレ
マシタ通り段々此通常保險ノ保險金額ハ上ツテ參ル傾向ヲ有ツテ居リマシテ、實際ニ於
キマシテ百圓マデノ契約ヲ認メラレテ居ル會社デアリマシテモ、百圓ト云フヤウナ小サイ契
約ヲ取りマスルコトハ經費ノ上カラ申シマスルト大變損ニナリマスルカラ、成ルベク避ケテ
居ルト云フ姿ガ確カニアルデアリマス、中ニハ規則ヲ設ケテ全然サウ云フモノヲ取ラナク
ナツテ居ルモノモ大分アル、サウ云フ工合デ其傾向ハ益々進ミツツアリマス、即チ保險金額
ハ年々高クナリツツアル、此關係ハ恐ラクハ向後ニ於キマシテハ尙ホ一層強マツテ來ハシナ
イカ、殊ニ戰亂ノ結果等ニ依リマシテ金ノ價值ガ下ガリマス、云フヤウナ關係カラ申シマ
スルト益、此傾向ハ大キナルコトト我々ハ見込シテ居リマス、果シテ然ラバ許サレテ居リ
マスル會社ハ、殊ニ二百圓ト云フ一點カラ取ツテ見マスルト數ハ紙ノ上デハ多ク見エマス
ルガ、實際ニ經營サレテ居ル業務ノ分量カラ申シマスルト必シモ多クナリノデアリマス、其
點ニ於キマシテハ許サレテ居リマスル會社ノ數ダケ判定スルコトハ出來ナイカト考ヘテ
居リマス、第二ノ點即チ家内二人或ハ其以上、其者ニ各三百圓ノ契約ヲ附ケタナラバ
其結果ハ千圓ニモ達スル、万圓ニモ達スル、云フ御話デゴザイマスガ、是ハ保險ノ實際
カラ申シマスルト其眞レハナイト云フコトヲ考ヘテ居リマス、即チ現今ニ於キマシテ生命保
險契約ヲ附ケテ居リマスル多數ノ者ハ、多クハ所謂稼人トモ言フベキ者デゴザイマシテ、
一家ノ生計ヲ支ヘテ居リマスル實際ノ戸主、法律上ノ戸主デモゴザイマセヌガ、一所帶
ノ實際ノ戸主ガ俸給其他ノ主トシテ働イテ得マスル收入ニ依ツテ一家ヲ支ヘテ居ル場合
ニ於キマシテ、若シ其戸主ノ身ノ上ニ異動ガゴザイマシテ死亡デモ致シマスルト、後トガ困
ル、其趣意デ例ヘバ戸主ガ千圓附ケ得ル者ハ千圓附ケル、或ハ二千圓附ケ得ル者ハ二
千圓附ケル、斯ウ云フヤウナ次第デ保險ニ這入ツテ居ル次第デゴザイマス、統計上カラ
現今ノ通常生命保險ノ被保險者、一所帶ノ戸主ガドノ位デアツテ家族ガドノ位デア
ルト云フコトヲ證明スル材料ハナイノデアリマス、一家内ノ見ヤウハ即チ實際ノ狀態ト云フ
モノト法律上ト云フモノト家トガ全然違ツテ居リマスルカラ、何ガ一ツノ所帶デアルト
云フコトヲ發見スルニ足ルダケノ材料ガ毫モゴザイマセヌ、其結果トシテ被保險者タル者
ノ中何名ガ所帶ノ主デアルト云フコトハ分リマセヌデスカ、事實此所帶主ガ保險ニ這入ル
ト云フコトガ最も多イノデアリマス、家族等ヲ保險ニ入レマスルコトハ是ハ餘裕ノアル

場合ニ於テ始メテ起ルコト、又ハ極メテ少額ノ金額ニ付テ或ハ比較的小額ノ金額、可ナリ大キナ家ニ於キマシテ家族ノ者デモ死ネバ埋葬費等ガ要リマスカラ、ソノナコトカラ入ルト云フコト稀ニ這入ッテ居ル者モアリマスカ、數カラ言ヒマシレバ世帯主ガ一人保險ニ這入ルト云フコトハ最も多イ、サウシテ見マシレバ一家ノ主ガ千圓這入ッテ居リマス、或ハ千圓這入ラムト欲スル場合ニ於キマシテ之ヲ二人ノ家族ニ分配シテ三百圓ツツ九百圓這入ルト云フコトハ決シテ千圓一人世帯主ガ這入リマシタルコト同ジ結果ヲ來シマセヌ、從テ斯ノ如キ方法ニ依リマシテ簡易保險ニ這入ル其爲ニ通常保險ガ打撃ヲ被ムルト云フコトハ斷ジテナイヤウニ考ヘテ居リマス、第三ノ點ハ保險料ハ簡易保險料ノ方ガ高イカモ知レマシカ、身體險査等ヲシナイ爲ニ簡易保險ニ這入ル者ガ多クナラウカト云フ御話アリマスカ、是又一家ノ主人ガ極メテ少イ收入ノ中カラ切詰メテ勘定テ保險ニ這入ルト云フ場合ニ於テハ一割位ノ保險ノ差違ト云フモノハ中々多イモノナリマシテ、唯今申シタ如ク一箇年ニ下層人間ノ保險ニ這入ルト云フコトハ不健康ナ者ガ大部分ヲ占メテ居ル狀況デアリマスカラ、是等ガ身體險査ヲ受ケテ而シテ廉イ方ニ這入リニ行クト云フコトハ恐ラクナイコト考ヘテ居リマス、第四ニハ主トシテ百圓以下ノ契約ヲ目的トスルナラバ百圓以下トシテハドウカト云フ御話デアリマシカ、是ハ保險金額ノ最高限度ヲ下ゲマシタル結果トシテ即チ保險金額ハ非常ニ下ガッテ居リマス、唯今ノ三百圓ノ最高限度ハ平均額ハ僅ニ七十五圓ト云フコトニ計算イタシマシカ、若モ百圓以下ト云フコトニナリマシレバ其結果タルヤ平均額ハ非常ニ下ガリマシテ經費ト之ヲ比較シマシレバ經費ハ非常ニ割合ニ多ク要スルト云フコトニナリマスカ、其結果保險料ガ非常ニ上ガルト云フコトニナリマス、我々ノ主義トシテ居リマシタル就中低廉ナル保險料ヲ以テ下層社會ノ保險ヲ普及サセタイト云フ趣意ヲ沒却シヤウカト考ヘマス、サウ云フヤウナ趣意デア保險金額ノ最高額ヲ下ゲルト云フコトハ大ニ計算上困ル、尙ホ御參考ノ爲ニ申シマスカ、最高額三百圓ト云フコトヲ取ッテ考ヘマシルニ、主人デ三十歳ノ者ガ這入ルト致シマスレバ月ニ七十二錢、又二十年滿期養老ノ者ハ同ジク三十歳テ這入リマシレバ一圓三十五錢ト云フヤウナ保險料ニナリマス、月掛テ斯ウ云フ小額ノ保險料ヲ取リマシルモノナラバ、或程度マデ下層ノ者デアリマシテモ或ハ這入リ易イ、又三百圓ト云フ金額ハ小サイ商賣デモ始メマス、家督人ガ死ニマシテ跡ノ家族ガ小サイ商賣ヲ始メマスニハ殆ド最小限度トシテ必要ナ金額デハナカラウカ、サウ云フコトヲ考ヘマシレバ先ヅ最高限度三百圓マデ認ムルノハ、下層保險、下層者ヲノニスル簡易保險ニハ必要アリト思ヒマス、サウ云フ趣意デ三百圓ト云フコトニ大體決メテ置ク次第デアリマス

○富井政章君 私モ一言質問イタシタイト思ヒマス、本案ノ趣旨ハ先刻ヨリ度々御説明モアリマシタ通り主トシテ勞働階級ノモノヲ救済スルニ在ルト云フコトデアリマス、如何ニモ其通りデアラウト思ヒマス、保險金額ナド見テモ其趣旨デアルコトハ明カデアリマス、併シサウ致シマシタル云フト先刻水野博士ヨリモ御述ベニナリマシタ通り結局ハ成ルベク苦痛ヲ少ク、行ハレ易イヤウニシテ、サウシテ強制的ニスルト云フコトニナラウト、マア私共ハ思ヒマス、官營獨占ト云フコトヲ完全ニ説明スルニモドウシテモ、サウナクテハナラヌト思ヒマスガ、併シソレハ今日ニ在ッテハ實行スルコトガ出來ナイ、マア今日暫ク此位ノ程度デアッテ見ルヨリ外ナイト云フコトデアレバソレマデノコトデアリマス、唯此案ニ依レバ保險ノ

種類ハ生命保險ト養老保險ニ限ッテ居リマスカ、勞働階級ノコトニ付テ最モ考ヘネバナラヌコトハ死ト云フコトヨリモ疾病傷亡ト云フヤウナ場合デアナイカト考ヘマス、チヨット調ベマシタ所ニ依レバ鐵道院ト印刷局トカ專賣局トカ云フ風ナ救済組合ニ屬シテ居ルモノガ一年ニ救済ヲ受クル者ガ二萬八千人ノ内死亡者ハ僅カ千百人餘ニナッテ居ルヤウニアリマ、シテ見レバ疾病傷亡等ニ依ッテ救済ヲ受ケナケレバナラヌ狀態ニ在ルモノハ死亡者ニ比スレバ頗ル多イデアリマス、サウ云フモノガ此簡易保險ニ加入シテ居ッテ後ニ疾病ニ罹ルトカ怪我ヲ受クルカ云フヤウナコトノアツタ場合ニハ、元來僅ナ給料ヲ得テ生活シテ居ルモノデアリマシカ、少シク保險料ヲ拂フコトニ大變困難ヲ感ズルヤウナコトハ屢々生ジハセマカ、サウ云フヤウナコトガアレバ此法律ノ目的ヲ完全ニ達スルコトガ出來ヌト云フヤウナ結果ニナリハセマカ、何カ別ニサウ云フ疾病傷亡等ニ關スル保險法ヲ近キ將來ニ於テ設ケルヤウナ御考ガアルノデアルカ、或ハ又簡易保險ニ付テモサウ云フトノ起ツタ場合ニハ雇主トカニ於テ保險料ヲ拂ッテ行ク、或ハ或ル制限ヲ設ケテ一時支拂ヲ免除シテヤル、何カサウ云フコトニデモナルナラバ救済ガ付クノデアリマスカ、是ハドウモ屢々起ルコトダラウト思ヒマス、病氣ヲシテ、怪我ヲシタ場合ニ小額デアリマシケレドモ苦シイ保險料ヲ拂ウテ居ル者ガ直グ翌日カラ雇主ノ解カレルト云フコトハナカラウト思ヒマシケレドモ、醫者ニ掛ラナケレバナラヌ、且ツソレニ關スル種々ノ費用ガ要ルト云フヤウナコトニナル續ケテ保險料ヲ仕拂ッテ行クト云フコトハ非常ニ困難デアリマス、サウ云フヤウナ場合ニハ、ドウシマスカ其點ヲ伺ヒマス

○政府委員(松本丞治君) 唯今ノ御質問ノ如ク終身保險ト養老保險トダケヲ簡易保險ニシテ實行スルコトニナッテ居ル、疾病保險傷害保險ノ如キモノハ此組織デハ到底經營ガ出來マセヌデアリマス、疾病保險ハ外國ニ於キマシテモ必ズ極メテ小仕掛ナル自治的ノ救済組合的ノモノヲシテ經營セシメテ居リマス、其理由ハ疾病デアアルカドウカト云フコトガ非常ニムツカシイ問題ニナリマス、疾病ト號シテ手當ヲ取ル、懶カマシテ手當ヲ取ル、或ル疾病デアナイモノヲ疾病ト稱シ或ハ輕イ疾病ヲ重イ疾病ト稱スルコトガアリマス、免角正當ナ申立ガ出テ來ナイ、其結果トシテ疾病保險ハ小仕掛ノ救済保險ニ依リマシテ互ニ組合員ガ制限ヲシ合ッテ始メテ成功シマス、到底此方法ニ依ルトハ出來マセヌ、又傷害保險ハ各種ノ事情ニ依リマシテ率ガ大變違ヒマス、是亦大仕掛ニ經營スルコトハ出來マセヌ、例ヘバ鐵工關係ノ工業者ノ組合或ハ紡績關係ノ組合トカ云フコトノミニ限ッテ經營スルコトガ出來ル、其結果トシテ此保險ニ於テハサウ云フ經營ハ出來マセヌ、又將來其考ハゴザイマセヌ、他ノ方法ニ依ッテ將來經營スルコトニナラウト思ヒマス、斯ノ如キ疾病傷害ノ結果トシマシテ此保險ニ加入シテ居ル者ガ掛金ヲスルコトガ出來ナクテ困ッテ居ル者ガアラウト云フ御心配ハ御尤ナコトデアリマス、ソレデ原案ニ於テモソレ等ノコトヲ心配シマシテ救済ノ道ヲ講ジマシテ一ハ擔保貸ト申シテ、其加入者ガ自己ノ拂込シテ居ル所ノ保險料中カラ責任準備金ト多少ノ經費ヲ引キマシタ金額マデハ擔保トシマシテ貸與ヘル、極メテ低利デ之ヲ貸與ヘルコトニシテ居リマス、即チ貸與ヲ受ケル權利ヲ保險契約者ニ認メテ居リマス結果トシテ、負債デモシテ拂ヘナイキニ擔保貸ヲシテ保險料ヲ拂フノミナラヌ、又其治療費等ニ供用スルコトモ認メテ居リマス、又他ノ一方ニ於キマシテ解約ヲシマシタトキニ解約ノ返戻金ハ私立ノ會社ヨリハ遙ニ多ク與

ヘルコトニシテ居リマス、又解約ノ場合ニ於キマシテ既ニ拂込シテ居ル保険料カラ解約ノ返戻スルトキニハソレヲ限度トシテ、ソレヲ一時拂フ保險ヲ爲シタト見ルコトニシテ居リマス、一時的ノ故障ナラバ擔保費ニ依リテ之ヲ拂ヒマス、永久的ノ解約ヲシナケレバナラヌ場合ハ幾ラマデノ契約ハ殘シタルコト云フコトニシテ居リマス、是等ノ方法ヲ唯今ノ御心配ノヤウナ場合ニ加入者ノ便宜ヲ圖ルコトヲ努メタト思ヒマス

○富井政章君 今一ツ伺ヒタイ、先刻ヨリ政府委員ガ度々民營ニ何等ノ影響ヲ及ボサナイト云フ御話デアリマスガ、保險金額ニ關シテ影響ヲ及ボスコトハナイカト云フ御議論ハ水野君鎌田君カラ出マシタガ、私ハ他ノ點ニ付テ述ベテ見タイト思フ、ソレハ御配付ニナラズ保險事業概要ト云フモノヲ見マスモ募集手數料及集金手數料ト云フモノガ舉ゲテアリマス、募集手數料ト云フモノハ加入者ヲ捉マヘテ來タラ幾ラカヤルト云フ其金額デアラウト思ヒマスガ、ソレハ保險金ニ對スル千分ノ六トナラズ居リマス、ソレハ民營ノ各社ナドヲ見マス少シ高イヤウデアリマスガ、最モ年掛トカ又ハ何箇月掛トカニ云フノ違フノデアリマスガ、此方ハ大シタコトハナイト考ヘマス、集金手數料ト云フノガ百分ノ十二トナラズ居リマス、私ハ斯ウ云フコトハ委シイコトハ知ラナイノデアリマスガ、民業者ノ言フ所ニ依レバ、書イタ書物モアリマスガ百分ノ五デ、ソレニシテモ代理人ニ依ル集金手數料ノミガ大正三年度デ百五十二萬圓ト云フモノニナラズ居ル、ソレガ今度ノ簡易保險ニナルト、百分ノ十二ト云フ高額ノモノヲ拂フト云フコトニナルト、ドウシテモ自分ノ方デモ率ヲ上ゲナケレバナラヌコトニナル、此點ニ於テ多少ノ影響ヲ受ケルト云フコトガアリマスガ、其點ハ如何デアリマスガ、サウ云フコトハ事實ニ於テナイト云フコトデアリマスガ

○政府委員(松本蒸治君) 募集手數料千分ノ六ト申シマスモ或ハ大キク聞エルカ知リマセヌ、例ハ三百圓ト云フヤウナ契約ヲ取ツテ見マス稍々多ク聞エマス、七十五圓ノ保險千分ノ六ト云フ趣意デ極メマシタノデ、實際之ヲ實行スルニ當リマシテハ小額ノモノト大キイ額ノモノトノ間ニハ多少ノ比率ノ差異ヲ設ケタイト考ヘテ居リマス、而シテ小額ノモノカラ申シマス千分ノ六ト云フハ極メテ小サイ額デアリマス、百圓ノモノデゴザイマス僅ニ募集手數料ハ六十錢デアリマス、之ヲ二十圓ト云フヤウナ契約カラ申シマス極メテ小サイ額ニナリマス、決シテ募集手數料ハ多イト信ジテ居リマセヌ、而シテ民間ノ會社デハ規定デハ幾ラト極メテアリマスガ必ズ其通り實行サレテ居ラスノデ、集金手數料ノ如キハ實際仕拂テ居リマス金額ハ餘程高イモノニ及ンデ居ルコトガ多イヤウニ私ハ觀察シテ居リマス、其千分ノ六ト云フ額ハ小サイ金額ノ保險ニ付テ之ヲ考ヘテ見マス決シテ多クハナイ、又七十五圓ト云フ保險額カラ取ツテ見マス多クニ失スルコトハナイト考ヘテ居リマス、併シ是ハ實施ノ上ニ於キマシテドウモ多過ギルヤウナモノデアルト云フコトデアリマスソレ等ノコトハドウモ變更ノ出來ルコトデアリマスカラ、或ハ減ラスコトモ出來ルノデアリマス、又集金手數料ハ尙更ニ高クナイト思ヒマス、大キイ金額ノ保險會社ハ多クハ年掛、或ハ半年掛、月賦ト云フモノハ昔ハ多少ヤツテ居リマシタガ新シイ契約ニハ殆ドナイ、大キイ金額ヲ年々一回トカニ集メマスガ、コチラノ方ハ七十五圓ヲ平均額ト致シテアリマスカラ保險料ガ極メテ少イ、其少イ金額ヲ月掛テ取ルト云フコトニナラズ居リマスカラ、其費用ノ掛ルノハ到底年掛、或ハ半年掛ノ大イ金額ノモノト比較シテ割合ガ大キクナルト云フコトハ當然デアリマシテ、現今豫定シテ居ル金額デハ到底

ムツカシカラウト云ツテ居ル位デアリマス、民業ノ方トノ關係上コチラガ此金額デ定メタト云フコトデ、民間會社ガ代理店ト拂フ手數料ヲ上ゲナケレバナラヌト云フコトハ萬ナイト云フコトハ確ク信ジテ居リマス、尙ホ申述ベマスガ、通常ノ保險ノヤウナ大キイ金額ニナリマスト集金ガサウ面倒ナコトハナイト思ヒマスガ、實際下層民ヲ對手ノ集金ト云フコトニナリマス住居ガ分ラナクナルコトモアリマセウシ、金ガナイカラ拂ハヌト云フコトモアリマセウシ、集金ガ非常ニ手數ガ掛ル、且ツ小額ノモノデアリマスカラ割合カラ申シマス大キイヤウデアリマスガ、實際得マス金額自身カラ申シマス極メテ小サイモノデアリマス、一圓取リニ參リマシテモ十錢取リニ參リマシテモ手數ニ於テハ違ヒハナイノデアリマスカラ、此集金手數料ハ決シテ多クハナイト思ツテ居リマス、若シ實行ノ上ニ是デモ多イト云フコトデアリマスタラバ何レハ變更シテモ差支ナイ積リデアリマス

○委員長(伯爾林博太郎君) 本日ハ是ニテ委員會ヲ終リマス、次會ハ彙報ヲ以テ御通知イタシマス

午後零時十二分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爾林 博太郎君 副委員長 子爵前田 利定君

子爵本多 忠鋒君 仲小路 廉君 小松謙次郎君
男爵眞田 幸世君 男爵長松 篤榮君 富井 政章君

山之内 一次君 水野鍊太郎君 桑田 熊藏君
荒井 泰治君 鎌田勝太郎君 日高榮三郎君

國務大臣 遞信大臣 箕浦 勝人君

政府委員

法制局長官 高橋 作衛君 法制局參事官 松本 蒸治君

法制局參事官 馬場 鏝一君 遞信省參政官 木下謙次郎君

遞信省副參政官 荒川 五郎君 遞信省通信局長 田中 次郎君

遞信省管船局長 若宮 貞夫君 遞信書記官 中西 四郎君

爲替貯金局長 肥後 八次君 爲替貯金局事務官 日吉 平吉君